

障がい者虐待防止専門部会設置に向けた プロジェクトチームの取組状況

令和7年度の取組

➤ 目的

「虐待のない地域づくり」を目標とし、誰もが安心安全に生活できるために、障がい者虐待防止対策を検討すること

➤ 取組事項

1. アンケート実施

虐待防止や権利擁護に関する当事者やご家族の思い、事業者の実態や支援上の困りごとなどを把握することを目的に実施。

当事者から6件、障がい福祉サービス事業所から106件の回答を得た。

2. 委員の検討

アンケートの中で、専門部会への参画の意向を示して下さった事業所職員は24名。

(居宅介護・生活介護・生活訓練・就労継続支援B型・計画相談支援・共同生活援助・自立生活援助・放課後等デイサービス・地域活動支援センター・サービス付き福祉マンション)

アンケートから見えてきたこと

➤ 当事者の思い

- ・虐待に至るまでにはいくつかのサインを発しているはず。それを誰が発見できるかがキーとなる
- ・助けを求めている人は自ら伝えられないことを基本として、周りからのサポートとアプローチが広がってほしい

➤ 事業者の思い

- ・支援が長期間になることにより、パターンに利用者を当てはめてしまうことがあるため、振り返りや意思決定支援を丁寧に行いたい
- ・利用者と支援者双方の尊厳と権利が尊重されることが基盤
- ・参加者主体で学べる研修があるとうれしい



令和8年度の取組

1. 事例の分析

⇒発生要因や取組について検証することにより、支援者の気づきを得ること、予防的視点を養うことにつながる

2. 事業者への研修

⇒虐待防止にかかる取組を共有することにより、一機関で抱えず、相談しやすい土壌づくりを行う

3. アンケート実施の継続

⇒当事者、ご家族、事業者の声を聴き、実態把握を行うことにより、取組に反映させる

4. 地域への普及啓発

⇒虐待の予防と早期発見、早期対応に向けて、見守り体制をつくる



➤ 虐待防止ネットワークの構築を目指す